

コロナ感染者、受験認めず 薬剤師国試で異例の措置へ

厚生労働省

厚生労働省が2021年2月20、21日に実施する第106回薬剤師国家試験は、新型コロナウイルス感染症の診断がなされた場合、受験を認めないという異例の措置が取られることになった。会場入口で検温を実施し、37.5℃以上の者には迅速抗原検査を実施。陽性反応が出た場合はオンラインで医師が診察を行い、新型コロナウイルス感染症の診断がなされた場合は受験を認めず、追加試験も行わない。濃厚接触者については、試験当日に無症状などの条件を満たせば別室で受験を認める方針。受験者には、試験当日まで感染防止対策など万全の準備が必要になりそうだ。

第106回薬剤師国試は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上

で、国試の科目、実施方法、合格者の決定方法は変更せずに実施する。

試験当日に新型コロナウイルス感染症に罹患し、入院中、宿泊療養中、自宅療養中の受験者は受験を認めない。会場入口でサーモグラフィカメラによる検温を実施し、37.5℃以上の者や咳などの症状を認めた者は再度、接触型体温計により検温し、37.5℃以上の発熱が認められれば、迅速抗原検査を実施する。

検査の結果、陽性反応が出た場合は、オンラインで医師が診察を行い、新型コロナウイルス感染症と診断されれば受験を認めず、追試などの救済措置も行わない。それ以外の場合は別室での受験となる。

試験当日、新型コロナウイルス感染症の診断で受験できなかった受験者に限り、試験日前後2週間に診断

ニュースダイジェスト

「薬事日報」の紙面から

関連記事 9～11ページ

書などの提出によって受験手数料を返還する。

保健所から濃厚接触者に該当するとされた者については、試験前日までに予め申し出ることとした。当日の受験については、▽自治体によるPCR等検査で陰性▽受験当日も無症状▽公共の交通機関を利用せず、自家用車などを使って人が密集する場所を避けて試験場に行く——の条件を満たした場合に別室での受験が可能になる。

当日の試験では、受験者間の間隔を1m以上確保するとされ、受験者

にはマスク着用を義務づける。第105回薬剤師国試は全国13会場で実施したが、できる限り広い試験会場が必要になることから、会場数が増える可能性がある。希望者数の状況により、受験願書に記載した受験地に隣接する都道府県に所在する試験会場で受験してもらうこともある。

感染状況がさらに拡大した場合、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合の受験要件がより厳しくなる可能性もあるという。

(2020年12月7日掲載)

前回のコラムでは、薬の副作用は主作用の対義語であり、必ずしも有害な作用だけを意味する言葉ではないというお話をしました。では、薬の主作用とはいったい何でしょうか。あらためて考えると、その意味するところを的確に表現することは難しいように思います。強いて言えば、「薬の本来の目的に沿った作用」ということになるでしょうか。糖尿病の薬であれば、その開発目的や薬理学的な作用機序から考えても、高い血糖値を下げるのが主作用であり、それに伴い生じてしまう低血糖は副作用と考えることができます。

とはいえ、「薬の本来の目的」とは言っても、その本来性を決定づける客観的な基準があるわけではありません。薬に限らず、物の存在価値は時と場所、あるいは状況によって変わることは経験的にも明らかでしょう。例えば、スタチン系薬剤の本来の目的に沿った作用は、コレステロール値の低下ですよね。しか



医療法人徳仁会中野病院薬局
青島 周一

これから『薬』の話をしよう

薬の主作用を考える

し、同薬による心血管リスクの低下は主作用なののでしょうか。それとも副作用なののでしょうか。「本来性」をどうとらえるかで、どちらにでも取れるように思います。

同じように、糖尿病治療薬のSGLT2阻害薬について考えてみましょう。心不全患者3730人を対象としたランダム化比較試験(PMID: 32865377)では、エンパグリフロジンの投与で心血管死亡、心不全増悪による入院の複合アウトカムが25%低下しました(ハザード比0.75 [95%信頼区間0.65～0.86])

また、慢性腎臓病患者4304人を対象としたランダム化比較試験(PMID: 32970396)では、ダパグリフロジンの投与で推算糸球体濾過量50%以上の低下、末期腎疾患、腎・心血管疾患による死亡の複合アウトカムが39%低下しま

した(ハザード比0.61 [95%信頼区間0.51～0.72])

興味深いことに、どちらの研究においても、糖尿病の有無とは関係なく心不全や腎臓病の予後改善が示されており、さらには低血糖リスクの増加も認められませんでした。糖尿病の治療薬として開発された薬ではありますが、臨床で期待されつつあるのは、血糖降下作用というよりはむしろ、心不全や腎臓病予後の改善効果なのです。

薬の本来の目的をあらためて問い直してみることで、薬の作用機序や薬効分類にとらわれることなく、薬の効果に対する視野を広げられるような気がしています。薬の目的の本来性を考えていくことは、人の生活と薬との直接的な関係性を考えることに他ならないからです。

「図解 薬理作用」を刷新——新薬の作用メカニズムも一目でわかる！

治療薬マニュアル2021

監修 高久史磨／矢崎義雄 編集 北原光夫／上野文昭／越前宏俊

- 後発医薬品を含む、ほぼすべての医療用医薬品を収載
- 添付文書に記載された情報をわかりやすく整理し、専門医による臨床解説を追加

web 電子版付

- 様々な条件検索に対応
- 電子版限定コンテンツ「薬物と飲食物・嗜好品との相互作用」

●B6 頁2848 2021年 定価5,500円(本体5,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04297-0]

医学書院 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [販売・PR部] TEL 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804 E-mail sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp



好評
発売中

本書購入特典
web 電子版



パソコン(Windows、Mac OS)でも利用可能

全文検索だけでなく、「薬品名」「適応症」「識別コード」などの条件検索に対応

実務実習に最適！